

朝食について見直そう週間

6月29日から7月3日は、「朝食について見直そう週間」でした。自分の朝食を振り返り、毎日記録をしました。本年度から「自分手帳」がデジタル版になり、生徒はタブレットで「自分手帳」に記録をしました。生徒の皆さん、自分の朝食を振り返ってみていかがだったでしょうか。一日三食の中でも朝食をとることはとても大事だと言われています。これからも毎日朝食をとれるよう早起きを心がけていきましょう。

1・2年生はタブレットを家庭に持ち帰り、保護者がお子さんの朝食の記録を見てコメントを入力しました。3年生については、夏休み前の教育相談の際に保護者が中学校でタブレットの記録を見てコメントしました。保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



朝の読み聞かせ

7月7日から10日までの3日間、1年生を対象に、文化の館職員(司書)による「朝の読み聞かせ」が行われました。今回の読み聞かせの絵本は、『わすれられないおくりもの』(スーザン・バーレイ著)でした。読み聞かせの前に、「目を閉じて読み聞かせを聞き、自分でその状況を自由に思い浮かべながら、物語を楽しんでほしい」と説明がありました。生徒の皆さんは目を閉じながら、静かに物語を聞いていました。どんな情景が浮かんできましたか。最後に谷川俊太郎の詩『朝のリレー』の読み聞かせもしていただきました。朝の落ち着いた雰囲気の中での読み聞かせで、とても心が穏やかになったことと思います。



情報モラル教室

7月9日に福島県消費生活センターの消費生活課 普及・啓発担当職員を講師としてお招きし、スマートフォン・インターネットの安全な利用について考えるとともに、利用する際の注意点を理解することを目的として、講話をいただきました。3年生は多目的ホールで、1・2年生は各教室でオンラインで講話を聞きました。個人情報の取り扱いや、ゲームなどにおける課金、闇バイトなど、最近起こっている問題について、実例をもとにお話をいただきました。これからも「他人事」ではなく「自分事」としてしっかりと考えていってほしいと思います。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



小野町長との給食懇談会(6年)

町長や副町長、教育長が7月1日に来校し、6年生の代表児童との給食懇談会が行われました。

代表児童は「町長は、普段どんなお仕事をされているのですか?」などの素朴な質問や、「学校の遊具などの要望」「町の税金について」「これからのまちづくりについて」などの町に関する要望や提案を一人ひとり伝えました。

町長には、町の行政のことを織り交ぜながら、分かりやすくお答えいただきました。子どもたちは緊張した様子でしたが、普段聞くことのできない話を聞くことができ、貴重な時間を過ごすことができました。



小野町更生保護女性会による「朝のあいさつ運動」

小野町更生保護女性会の「社会を明るくする運動」の一環として、「朝のあいさつ運動」が7月15日に行われました。朝早くから、町長や副議長、教育長、保護司、民生児童委員、警察署員など、多くの皆さんにお集りいただきました。子どもたちは、地域の方々に見守られながら、いつもより元気よく一日をスタートすることができました。小野町では「あいさつ日本一」を目指しています。これからも、地域の方々へ元気で気持ちよいあいさつができるよう取り組んでいきます。



県中教育事務所と町教育委員会による要請訪問

県中教育事務所や小野町教育委員会の指導主事による要請訪問が7月16日に行われ、本校の授業を参観していただきました。この要請訪問は、福島県教育委員会の施策である「学びの変革推進プラン」、県中教育事務所の「指導の重点」などを踏まえ、各指導主事から指導や助言を受けて、教育活動の充実を図るものです。

授業の様子を参観した指導主事の皆さんから「どの学級でも、児童の心地よいあいさつができていてよかった」「先生の笑顔や表情がとてもよい」というお褒めの言葉をいただきました。

今後も、ご指導・ご助言いただいたことを生かしながら、教育活動をさらにより良いものにしていきたいと思います。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



おのまち認定こども園通信

プールにお祭り♪大はしゃぎの子どもたち！

夏は楽しいことがいっぱい！B&G海洋センタープールやこども園での水遊び、水鉄砲でのかけ合い、じょうろや石鹸を使った遊びに大喜びの子どもたちです。

そして7月15日には夏まつりが開催されました。年長クラスの子どもたちは、みんなで力を合わせて作ったお神輿を「わっしょい！わっしょい！」と元気いっぱいの掛け声とともに担ぎました。お店回りでも、お店屋さんとのやり取りを楽しみ、夏の特別な雰囲気を体全体で味わっていました。



地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ

～友だちを誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後3時まで

実施内容

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。(※こども園に在園していないお子さんも利用できます。)

電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園 ☎73-8321

実施内容

月 日	事業名	内 容
10月	7日㊟	子育てサロン(午前10時から午前11時まで) 親同士による子育てに関する悩みなどを相談できるサロンを開催します。
	24日㊤	園庭開放(午前9時から正午まで) 親子で自由に遊べるように園庭を開放します。

☆放課後児童クラブ紹介☆

～夏休みの体験活動～

7月28日から7月30日までの3日間、放課後児童クラブの児童が学年ごとに分かれ、公民館雁股田分館で体験活動を行いました。自分たちの好きな絵を描きオリジナルのコスターやエコバッグ作りをしました。世界にひとつだけの作品の出来上がりです！また館内には昔の農機具や足踏みミシンの展示、漫画やゲームなど部屋ごとに違った展示物があり、児童は興味津々で見たり、触れたりしながら楽しい時間を過ごしました。

30日に参加した4・5・6年生は、福島県の「大学生と集落の協働による地域活性化事業」で来町していた東京農業大学の学生や、雁股田行政区の皆さんと一緒に、おはじや羽子板、竹とんぼなどの昔遊びも体験しました。本物の竹で作られた竹馬にも挑戦し、うまく乗れた時には大喜びでした。地域の方々や大学生とふれあい楽しく過ごした時間は、たくさんの笑顔があふれていました。



自分だけの
オリジナルエコバッグ。
すてきな作品に
なりました！



♪たのしいこと
いっぱい♪

健やかな成長を願い

笑顔とがんばり子育て応援金贈呈

新たな町民の誕生を祝福し「小野町笑顔とがんばり子育て応援金」が贈られました。

今回贈呈を受けたおさんは次のとおりです。(敬称略)

・今泉 湊翔 ・芳賀 悠真 ・阿部 永祈

そのほかに、町有林の間伐材で作られた子ども用いす「おめでたいっすー」または「ベンチBOX」が贈られました。

